

環境共生課

環境共生保全費	113
協働の森づくり事業費	114
オフセット・クレジット推進事業費	115
清流保全推進事業費	116
四万十川総合対策事業費	117
希少動植物保護対策事業費	118
自然公園等施設整備事業費	120
自然公園等管理費	121
牧野植物園管理運営費	122
豊かな環境づくり総合支援事業費	123
公園施設等災害復旧事業費	125
自然保護基金管理費（特別会計）	126

事業名	平成25年度	平成25年度	平成26年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
環境共生保全費	3,452	3,452	3,591			3,591

1 目的

自然環境保全の総合的な推進を図るために、環境影響評価(アセスメント)の審議等を行う。

2 内容

(1) 環境影響評価(アセスメント)技術審査会等開催経費 (639千円 (一)639千円)

- ・環境に著しい影響を及ぼす恐れのある開発事業の実施に先立ち、環境影響評価(アセスメント)の審査会を開催

(2) 環境共生保全事務費 (2,952千円 (一)2,952千円)

- ・環境行政の円滑な推進を図るための各種連絡会議への出席や関係機関との連絡調整等の事務費

事業名	平成25年度	平成25年度	平成26年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
協働の森づくり事業費（協働の川づくり）	324	324	324			324

1 目的

森と密接な繋がりを持つ川の環境保全をテーマとし、新たな活動メニューを企画・提案することによる企業の環境・CSR活動の誘致及び企業等の持つ助成制度を県内のNPO等とマッチングさせることで、地域活動の活発化と環境の保全を図る。

2 内容

(1)事務費 (324千円 (一) 324千円)

3 平成25年度に実施した主な事業の実績

(1)協働の川づくり事業

①協働の川パートナーズ協定締結……更新1件（アサヒビール）

②協働の川パートナーズ協定に伴う寄付……10件

(内訳 高知食糧 9件、アサヒビール1件)

事業名	平成25年度	平成25年度	平成26年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
オフセット・クレジット推進事業費	23,835	19,485	22,145	—	(諸) 8,465	13,680

1 目的

地球温暖化対策を推進するために、森林の機能や資源をJ-クレジット制度等によって「見える化」、「証券化」し販売することで、森林整備や雇用の創出など新しい森林ビジネスを構築し、地域産業の振興を図る。また、県産材を用いた木造住宅のCO2固定量を認証し、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールし、県産材の利用を促進する。

2 内容

(1) 高知県版 J-クレジット制度等運営事業費

(12,718千円(－)12,718千円)

県内の森林資源を活用した森林吸収及び排出削減プロジェクトを対象とした高知県版 J-クレジット制度の運営を行い、クレジットを創出・販売することで地球温暖化対策と雇用の創出へつなげる。

委託事業：オフセット・クレジット認証センター運営等委託料

委託先：一般社団法人高知県山林協会(随意契約)

(2) CO2 木づかい運動推進事業費

(454千円(－)454千円)

県産材を用いた木造住宅や公共建築施設、木製品のCO2固定量を認証する。

(3) オフセット・クレジット販売促進等事業費

(8,973千円(－)508千円(諸)8,465千円)

県有林を活用した森林吸収プロジェクトによるCO2吸収量の検証・認証を受け、クレジット化を行うとともに、排出削減・森林吸収クレジットの販売促進を図るため、営業、情報収集の体制を構築する。

委託事業：オフセット・クレジット市場拡大事業委託料

委託先：オフセットプロバイダー(随意契約)

3 平成25年度までに実施した主な事業の実績(平成26年3月31日現在)

(1) オフセット・クレジットの発行

- ・木質資源エネルギー活用事業 20,257 t-CO2

(H20:899t-CO2, H21:1,932t-CO2, H22:3,089t-CO2, H23:2,534t-CO2, H24:5,400t-CO2, H25:6,403t-CO2)

- ・森林吸収量取引プロジェクト 2,305t-CO2(うちバッファー 68t-CO2) (H22:285t-CO2, H25:2,020t-CO2)

(2) 売却状況

- ・162件 売却済み 8,367t-CO2

(H20:899t-CO2, H21:1,742t-CO2, H22:1,743t-CO2, H23:1,658t-CO2, H24:591t-CO2, H25:1,734t-CO2)

(3) 高知県J-VERプロジェクト 登録・認証・発行状況

- ・11件登録、16件認証、16件発行

(4) 高知県版J-クレジットプロジェクト登録

- ・11件登録

事業名	平成25年度	平成25年度	平成26年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
清流保全推進事業費	1,334	1,334	2,538		(入) 650	1,888

1 目的

本県の恵み豊かな清流を次世代へ引き継ぐため、清流保全基本方針に基づいて策定した清流保全計画をベースに、流域住民や団体等との協働のもと、健全な水循環の保全・再生を図る。

2 内容

(1)物部川清流保全計画・第2次仁淀川清流保全計画の着実な推進

物部川清流保全計画及び第2次仁淀川清流保全計画の推進母体として設立した物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会を、流域住民や事業者、国や流域市町村などと協議しながら運営し、具体的な取組を進めていく。

・清流保全条例推進事業費 (1,888千円 (一)1,888千円)

- ① 物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会委員等報償費 300千円
- ② 第2次仁淀川清流保全計画改訂委託料 1,115千円
 契約方法：指名競争入札
 委託先：コンサルタント等
- ③ 事務費(旅費、使用料及び賃借料) 473千円

(2)清流保全計画の指標収集と環境学習への支援

清流保全計画に基づく取組の達成状況を把握する指標を収集するとともに、流域の小学生らが川に親しみながら、環境学習の一環として水生生物の調査などに取り組むことが出来るように支援する。

・清流保全計画指標モニタリング事業費 (650千円 (入)650千円)

- ① 事務費(需用費) 650千円

3 平成25年度に実施した主な事業の実績

(1)物部川清流保全推進協議会の取組

- ・代掻き時期における濁水対策の実施
- ・一斉清掃の実施
- ・清流保全勉強会の開催等

(2)仁淀川清流保全推進協議会の取組

- ・仁淀川一斉清掃の実施
- ・仁淀川シンポジウムの開催等

事業名	平成25年度	平成25年度	平成26年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
四万十川総合対策費	15,004	12,676	13,024		(入) 474	12,550

1 目的

四万十川の総合調整を推進するため、国や愛媛県、流域市町、関係団体及び住民団体などとの連携を図り、四万十川条例に基づいて、生態系や景観、生活文化財産の保全及び地域振興との調和を図るとともに、保全と振興の実践組織である四万十川財団の事業を支援する。

2 内容

- (1) 流域市町と連携した生活文化財産の保全に向けての取組（重要文化的景観を活用した流域の振興）
- (2) 共生モデル地区における住民と行政との協働の取組（四万十くろそん会議、大正なかつか会議 他）
- (3) 重点地域における許可制度の運用

- ・ 四万十川流域保全振興委員会費（252千円（一）252千円）
（委員報酬）
- ・ 重点地域等管理費（3,153千円（一）3,153千円）
 - ① 四万十川流域保全振興委員会運営等委託料 798千円
契約方法：見積競争
委託先：コンサルタント等
 - ② 事務費 2,355千円
（報償費、旅費、需用費等）
- ・ 清流基準モニタリング事業費（旅費、需用費）（474千円（入）474千円）

- (4) 四万十川流域の中核的実践組織である四万十川財団の支援

- ・ 四万十川財団活動推進事業費（9,002千円（一）9,002千円）
（四万十川財団運営費補助金）
- ・ 事務費（143千円（一）143千円）
（報償費、需用費等）

3 平成25年度に実施した主な事業の実績

- (1) 文化的景観連絡協議会、四万十川グリーンツーリズム連絡会との連携による流域の振興に係る取組
- (2) 四万十くろそん会議の運営、大正中津川地区と四万十町との共生モデル地区協定の締結
- (3) 重点地域における許可制度の運用

事業名	平成25年度	平成25年度	平成26年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
希少動植物保護対策事業費	21,031	19,958	26,421		(入)9,149 (諸) 4	17,268

1 目的

県内に生息・生育する希少な野生動植物の保護を図ることにより、生物多様性の保全及び自然との共生に寄与し、健全な自然環境を将来の県民に継承する。

2 主な内容

(1) 保護対策事業費 (12,588千円 (一) 12,584千円 (諸) 4千円)

高知県希少野生動植物保護条例に基づき、県内に生息、生育する希少野生動植物の保護に関する検討や対策等及び高知県うみがめ保護条例に基づく保護区の管理等を行う。

また、外来生物法による特定外来生物の拡大防止のための対策を行う。

① レッドデータブック改訂委託料 (12,285千円 (一) 12,285千円)

内容：高知県レッドリスト及びレッドデータブックの動物編の改訂のため、改訂方法等の検討や野生動物の実態調査等の業務を委託する。

委託先：県内コンサル業者

契約方法：指名競争入札

(2) 希少野生植物食害対策事業費 (9,149千円 (入) 9,149千円)

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネット設置及び既設ネットの箇所のモニタリング調査等の業務を委託する。

① 調査業務委託料 (2,614千円 (入) 2,614千円)

内容：ニホンジカの食害による希少野生植物への影響調査、ヒアリング等を行い、専門的知見による防護柵設置計画を作成する。

委託先：(公財) 高知県牧野記念財団

契約方法：随意契約

② 防護柵設置業務委託料 (1,369千円 (入) 1,369千円)

内容：防護柵設置計画に基づいた柵の設置業務を行う。

委託先：森林組合

契約方法：随意契約

③ モニタリング調査業務委託料 (5,166千円 (入) 5,166千円)

内容：平成25年度までに設置した防護柵の効果を把握するため、モニタリングやヒアリングを実施する。

委託先：(株)西日本科学技術研究所

契約方法：随意契約

(3) 生物多様性地域戦略推進事業費 (4,684千円 (一) 4,684千円)

生物多様性基本法に基づき策定した「生物多様性こうち戦略」の推進及び進捗管理を行う。

①生物多様性地域戦略普及啓発事業委託料 (3,388千円 (一) 3,388千円)

内 容：県民の理解度を高めるための催しを実施するため、生物多様性こうち戦略策定キック
オフ・フォーラム及びワークショップの企画運営を委託する。

委託先：四国生物多様性ネットワーク

契約方法：随意契約

3 平成25年度に実施した主な事業の実績

(1) 希少野生植物の保全及び外来生物対策

県内の希少野生動植物等の保護対策及び特定外来生物等の拡大防止対策を実施。

- ・希少野生植物（フジバカマ）の保全
- ・特定外来生物（セアカゴケグモ）の調査及び駆除、外来生物に関する普及啓発

(2) 希少野生植物の食害対策

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネットの設置や既設ネットのモニタリング調査等を実施。

- ・調査箇所：9 地点10箇所
- ・防護ネットの設置：11箇所 1,140m延長
- ・既設ネットのモニタリング：全箇所 (22) 点検、モニタリング16/22箇所

(3) 生物多様性地域戦略の策定

平成24年度に行った生物多様性に関する現状と課題整理を踏まえて、具体的な施策（行動計画）や推進体制等を検討し、「生物多様性こうち戦略」を策定。

- ・生物多様性こうち戦略（仮称）策定検討委員会：4回
- ・生物多様性こうち戦略（仮称）策定検討委員会と生物多様性地域活動協議会との合同会議：2回
- ・タウンミーティングの実施：6回
- ・事業所研修会の実施：1回
- ・庁内連絡会の実施：1回
- ・パブリックコメントの実施：提出意見2名10件
- ・「さがそう、身近な生物多様性」フォトコンテスト：応募点数 310点
- ・ // 写真展の実施：1回

事業名	平成25年度	平成25年度	平成26年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等施設整備事業費	22,493	22,493	31,643	3,832	(入) 16,000	11,811

1 目的

自然公園や長距離自然歩道（四国のみち）などの施設整備を行った箇所において、長年の使用等により老朽化したものや危険な箇所等を修繕し、訪れる観光客の快適な利用や安全を確保する。

2 内容

(1)施設改修工事等の実施（31,643千円（国）3,832千円（一）11,811千円（入）16,000千円）

- ・四国のみち遊歩道等改修工事
- ・月見山こどもの森遊具設置工事 他

3 平成25年度に実施した主な事業の実績

- (1) 四国のみち看板改修等工事
- (2) 室戸岬園地遊歩道改修工事
- (3) 月見山こどもの森駐車場法面工事
- (4) 月見山こどもの森遊具設置等工事

事業名	平成25年度	平成25年度	平成26年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等管理費	14,458	14,458	14,038		(諸) 3,660	10,378

1 目的

自然公園法及び県立自然公園条例により指定された国定公園や県立自然公園などの保護管理を充実させるとともに、公園利用の適正化を図る。

2 内容

(1) 自然公園管理費 (469千円 (一)469千円)

- ・現地調査等に要する活動旅費等

(2) 県立こどもの森管理運営費 (7,551千円 (一)3,891千円 (諸)3,660千円)

① 月見山こどもの森管理運営委託料 (7,437千円 (一)3,777千円 (諸)3,660千円)

内 容：県立月見山こどもの森施設の指定管理者による管理代行料

指 定期間：H24. 4. 1～H27. 3. 31 (3年間)

指定管理者：情報交流館ネットワーク

② その他事務費 (114千円 (一)114千円)

(3) 四国のみち管理費 (5,814千円 (一)5,814千円)

- ・四国のみち管理委託料 (5,814千円 (一)5,814千円)

内 容：昭和56年度から整備した長距離自然歩道(四国のみち)の維持管理に要する委託料

委 託 先：18市町村、高知市森林組合、野根山街道保存協議会

路 線 数：36ルート(延長411.3km)

(4) 自然公園指導員活動強化事業費 (204千円 (一)204千円)

- ・自然公園指導員の資質向上を図るための研修会の開催等

3 平成25年度に実施した主な事業の実績

(1) 県立月見山こどもの森の管理運営委託

① 年間利用者数17,103人 (H26. 3月末)

② 道の駅やすやごめんなはり線等の施設との連携を図る事業

③ 地元ボランティア団体等、地域組織の活性化を図る事業

(2) 四国のみち管理委託

① 36ルート、411.3kmの草刈り等

事業名	平成25年度	平成25年度	平成26年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
牧野植物園管理運営費	350,405	348,361	354,716		(使) 190	354,526

1 目的

牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するとともに、県民に対し憩いの場を提供する。

2 内容

(1) 牧野植物園管理等委託料 (352,562千円 (一)352,372千円 (使)190千円)

内 容： 県立牧野植物園の指定管理者による管理代行料

指 定期間： H.23.4.1～H28.3.31 (5年間)

指定管理者： (公財) 高知県牧野記念財団

(2) 運営費 (2,154千円 (一) 2,154千円)

機器修繕等

3 平成25年度に実施した主な事業の実績

(1) 牧野植物園入園者数 146,046人 (平成26年3月末時点)

(2) イベント等の開催

①五台山花絵巻(四の巻) (72日間 63,760人)

②ハワイアンフラワーフェスティバル (37日間 19,340人)

③世界の三大穀物展 (121日間 37,308人)

④第8回ラン展 (16日間 7,924人) 外

(3) 南海地震対策事業の実施

①南園石積修繕工事

②非常食等備蓄

(4) 下水道工事

事業名	平成25年度	平成25年度	平成26年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
豊かな環境づくり 総合支援事業費	6,129	6,129	6,142			6,142

1 目的

高知県環境基本計画第三次計画の目指す3つの社会づくりを実現するために、市町村やNPO等が行う地球温暖化対策の啓発活動や河川の環境保全及び環境学習等に対して総合的に支援する。

2 内容

(1) 豊かな環境づくり総合支援事業費補助金（6,000千円（一）6,000千円）

「高知県環境基本計画第三次計画」（平成23年4月策定）において示す5つの対象分野（地球温暖化への対策、循環型社会への取組、自然環境を守る取組、環境ビジネスの振興、環境学習の推進とネットワークづくり）の県内で実施される事業であり、3つの社会づくり（低炭素社会づくり、循環型社会づくり、自然共生社会づくり）を目指す取組に対して補助金を交付する。

○補助対象事業：地球温暖化防止県民会議推進事業

豊かな流域づくり活動支援事業

その他特に知事が必要と認める事業

○補助先：市町村等及びNPO等

○補助率：市町村等…1/2以内（1市町村等当たりの補助金の範囲が100千円以上、1,500千円以下）

NPO等…定額（1団体当たりの補助金の範囲が500千円以下）

(2) 事務費 142千円（（一）142千円）

3 平成25年度に実施した主な事業の実績

○事業件数：12件

（NPO等）

- ・NPO法人環境の杜こうち（357千円：鏡川自然塾運営事業）

鏡川とその流域の環境学習活動を通じて自然の仕組みを科学的に理解し、調査し、記録する市民を育てる「鏡川自然塾」の運営。

- ・NPO法人土佐の森・救援隊（230千円：薪のある豊かな昭和の豊かな暮らし学校の開校）

次世代を担う子どもやその両親などを対象に、「薪づくりから薪宅配、薪宅配から高齢者たちに学ぶ環境にやさしい住まい方」をテーマにした地球にやさしい豊かな暮らしの学校を開校。

- ・アサギマダラの里 in 秋葉山（185千円：旅する蝶・アサギマダラと豊かな高知家の里山環境を育てる事業）

ロマンに満ちた不思議な蝶アサギマダラの生息地の環境整備や体験学習を通じた環境保全事業の推進。

- ・NPO法人四国自然史科学研究センター（500千円：高知県におけるコウモリ保護及び人とコウモリとの共存を図る方法を模索するための生息状況把握調査）

コウモリ目の生息状況調査を実施し、生息地の保護や人とコウモリとの共存の方法の模索や環境

学習への活用。

- ・天然資源活用委員会（500千円：スポットチェック10年の歩み「奈半利・田野沖サンゴ群集の10年」調査研究報告会）
奈半利・田野沖サンゴ群集のこれまでの調査結果をまとめ広く公表すると共に、報告会の開催。
- ・研究会「はたのおと」（435千円：三崎川における実践的環境学習と研究発表会「はたのおと2014」の開催）
川に興味ある地域住民が自然環境調査という実践的環境学習を通して身近な川を知る活動と、その調査研究成果を公開する研究発表会「はたのおと2014」の開催。
- ・しまんと黒尊むら（498千円：黒尊川水辺林再生事業）
黒尊川の水辺林の間伐や枝切り等を行い、水辺の生態系を保全し、川と親しめるような水辺環境の整備。
- ・NPO法人四国自然史科学研究センター（500千円：サルとの共存に向けた被害対策の取り組み）
中土佐町笹場地区でサルを誘引しているミカン類の収穫を行い、サルを寄せ付けない、サルとの共存に向けた被害防止対策の取り組み。
- ・香長ネイチャーゲームの会（500千円：感性豊かな子どもたちの育つ里山自然遊び学び場づくり）
「のいち冒険の森（のいち憩いの森）」において、利用者への感動体験内容をより充実させるための施設整備等を行い、感性豊かな子どもたちの育つ里山自然遊び学び場の提供。
- ・物部川21世紀の森と水の会（493千円：代かき濁水対策普及促進事業）
物部川の清流保全再生を目指すため、農業濁水防止のための対策（浅水代かきと止水板の利用）の普及促進、流域住民の清流保全意識の醸成及び清流保全再生ネットワーク強化の実施。
- ・NPO法人四国自然史科学研究センター（147千円：東洋町生見海岸におけるアカウミガメに対する獣類による食害防止検討事業（予備調査））
アカウミガメの卵の食害対策のため、砂浜に侵入している哺乳類等を調査し対策の基礎とする。
- ・生態系トラスト協会（490千円：ヤイロチョウ保護区の森の監視及び調査の為のウェブカメラシステム導入事業）
ヤイロチョウの生態系保護区内にウェブカメラを設置して、保全・管理・普及啓発の実施。

事業名	平成25年度	平成25年度	平成26年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
公園施設等災害復旧事業費	5,000	5,000	5,000		(債) 5,000	

1 目的及び内容

自然公園区域内の施設が降雨、暴風、洪水、津波その他異常な自然現象によって被災または破損した場合に、当該施設を原型に復旧する。

2 平成25年度に実施した主な事業の実績

対象となった災害なし

事業名	平成25年度	平成25年度	平成26年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然保護基金管理費 (特別会計)	1,048	1,048	1,277		(財) 315 (越) 962	

1 目的

高知県自然保護基金条例及び高知県自然保護基金管理規則に基づき、県内の自然環境に優れた土地を取得し、自然保護を推進する。

2 内容

県が取得した土地の維持管理を行う。

3 平成25年度に実施した主な事業の実績

県有地内において管理の支障となっている支障木の伐採を実施